

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リアンくすのき		
○保護者評価実施期間	2023年4月1日		～ 2024年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2023年4月1日		～ 2024年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年8月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多彩な療育プログラムからの充実した支援体制を組んでおり、個別支援計画ををより確実に達成するため、3か月ごとの個別評価を実施し、具体性のある支援を実施している。	療育タイトルは約200タイトルを持っており、それぞれに実施要領を作り対応している。また、個別に発達の違いがある為、グループ療育を実施する場合と、個別に配慮して行う場合があり、発達の程度で柔軟に対応している。	個々の療育内容が支援目的とずれていないか検証の必要がある。同じことの繰り返しによる継続も重要だが、勇気をもって見直すことも重要と考える。
2	社会科見学等、幅広く外部見学を実施しより多くの経験を積むことを重視し、広い視野を持てるよう活動の幅を広げている。	バスの乗り方教室(バス会社に協力依頼)、消防署での避難訓練、警察署訪問、恐竜博物館、工場見学(お菓子、パン、しょうゆ等)プラネタリウム、湧水トンネル、水源地での水遊び、足湯、など多彩な活動をしているがもっと、社会のルールやマナーを学べる活動を探したい。	一つ一つの活動に目的を持たせ、学習する内容を通所児にはっきりと示せるようにブラッシュアップを図っていく。
3	経験豊かな指導員を配置、学校の支援学級の経験がある先生、ベテランの保育士の先生など児童に寄り添うことができる指導員を配置している。	指導員の研修を熊本市の出前講座等を利用し、年4回実施している。	研修後の各指導員へのフォローを充実したい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会が未組織である。保護者同士の情報交換や療育知識の向上、発達障害に対する見識の向上等課題となることは多い。	過去に呼びかけをして、集めようと努力したが保護者様のお仕事の関係でなかなかうまくいかず、現在に至っている。	従業員の研修会にご案内状を出し、保護者様のご参加を促し職員と保護者様の交流を図りたい。
2	情報発信がうまくできていない。	令和6年8月にホームページをリニューアルし、より発信力のあるものになっている。	保護者様へのホームページ等の周知を図ります。
3			